

# 北見商工会議所青年部広報紙

## 第19号

2007年

# 4月



北見商工会議所青年部

会長 富 樫 伊知朗

やる気と・元気を合言葉にスタートさせていただきましたが早いもので折り返しの年となりました。

我々の地域だけでなく、北海道は・全国は と目を向けることも大切な一つかと考えます。

昨年度も多くの新しいメンバーが入会し組織としては素晴らしい基盤が整ったと思います。

もちろん四委員会ある、総務委員会・コミュニケーション委員会・マネージメントトレーニング委員会・

そこで7年目を迎える北見YEGとして年当初もお話しさせていただきましたが我々が青年経済人として地に足腰をしっかりと着け行動することによって更にステップアップをする1年にしたいと考えております。

マイスキルアップ委員会が機能することが絶対条件です。そのために今一度メンバー一人一人が何のために誰のためのYEGなのか考え行動に移していただきたい。

本年は北海道YEG会長として舩川君が外向することもありそついう意味でも絶好のチャンスの年であると考えます。

「自分たちの力を 自ら発信するために。」



# 道東協議会

去る、三月三日、ひな祭りの日に YEG 道東協議会が網走市で開催されました。

管内各単会はもとより、帯広、釧路、根室、浦河からも多数のメンバーが参加していました。北見 YEG からは、富樫会長、千葉副会長、松井副会長、塩野谷事務局長、西村顧問、加納委員長、竹中事務局そして自分を含め八名で参加して参りました。

今回は、当協議会小玉会長が任期最後とのことで、小玉会長が国士館大学の同窓生であることから、親交のありました現在全日本柔道連盟男子監督、同大学教授で、ロサンゼルス・ソウルオリンピック金メダリストの斉藤仁先生を講師にお迎えして、一般の市民の方々も参加しての講演会が開催されました。青森でお生まれになった先生が柔道をはじめのきつかけとなったのは、当時放送されていた「柔道一直線」を見たことで、ご存じの方も多いと思いますが、その中に足でピアノを弾くシーンがあり、これが斉藤先生と柔道との出会いであったようです。現役時代、二度の金メダルを獲得しましたが、日本勢総崩れの中、プレッシャーを感じながら試合に出場し、勝ち続けて金メダルを獲得することができたことは、厳しい練習に耐え、そこで培った強靱な精神力となによりチ

ームがあったからこそとれたのだと言っていました。全日本柔道男子監督の立場である現在、メダルを獲得する選手には共通する点があるといえます。野村選手、鈴木選手、棟田選手ともに金メダルを獲得しましたが、三選手がそろって頭を丸めたと言います。その行動の奥には「初心にかえる。」という思いが彼らをそうさせたそうです。初心にかえる、なにか困難なことや、大事なことをするときには必要なことなのかもしれません。ジャンクスポートからの出演依頼も幾度となくあるそうですが、断り続けているとのことでした。

先生は、幼少時から柔道に取り組んできた中で、特に厳しく言われ続けてきたことの中に礼儀というものが、挨拶の大切さ、人を思いやる気持ち、そして、「一人がみんなのために、みんなが一人のために」というこの気持ちがとても大切なのではないかと、いまそれが失われているのではないかと、言われていました。昨日、学校で起きている様々な問題、また社会で起きている事件など、大切な何かを大人も子供ももう一度、真剣に考えなければと改めて思いました。講演会終了後は、会場を移して懇親会が開かれ、各単会ピーアールの中で小玉会長への感謝とお礼の言葉が贈られていました。小玉会長、本当にお疲れ様でした。以上で道東協議会出席の報告といたします。

## 例会報告

### 12月例会報告

十二月例会は、会社側、売る側からではなく、お客様側・お金を出す側からマーケティングを勉強してみました。

YEGメンバーにとつて身近な題材「北見じまん村」を取り上げ、これをお客様側から見、発展させるためにはどうすれば良いのかを考えてみました。

具体的には、じまん村に対する意見・要望などをカードに記入してもらい、それを「KJ法」という手法を用いてまとめ、北見じまん村の改善点の洗い出しをしていただきました。

マーケティングの考え方もさることながら、この「KJ法」も、皆様方の会社に持ち帰って活かすことができるものだと考えておりますので、この機会にお試しいただきたいと思っております。

皆様から、「北見じまん村」について真摯な意見が出され、ひとりひとりが「北見じまん村」に高い関心を持つておられることがよく判りましたし、じまん村にあまり縁のない方にも、YEG から生まれたい「北見じまん村」を身近に感じていただくことができ、それができたことと思っております。

そして、例会の結果は、これからのじまん村運営に活かす



べく、早速、店主会議に使わせていただいておりますことをご報告申し上げます。

また、例会内で語り尽くせなかつた方々には、忘年会を兼ねた直会にて、おおいに語り合つて親睦を深めることが出来たと思っております。反省点としては、時間配分が難しく、全テーブルの発表ができなかつたことが挙げられます。

あらためて、皆様方の熱意と情熱のこもつたご意見をいただきましたこと、「北見じまん村」の立場から、この場をお借りしましてお礼を申し上げます。今後も「北見じまん村」にご指導・ご鞭撻いただけますよう、お願い申し上げます。例会報告といたします。

委員長 伊東隆志

### 1月例会(新年会)

平成19年1月16日(火)北見東急インにて厳粛に新年例会を開催致しました。今年度は、それぞれの会員が新年年度の顔合わせ、交流を深める場と考え、特に余興等は考えずに行いました。

来賓には、中神会頭を始め、長谷川・永田副会頭、会田専務理事、田丸女性会会長、松浦・山腰・辻副会長の8名が出席して頂き、その他に青年部を卒業された4名のOBの方にも出席を頂きました。冒頭に富樫会長より新たな新年度の挨拶をし、



その中で19年度北海道ブロック代表になる舛川会員のお披露目も行い、改めて青年部活動をアピールする場となったと思えます。次に中神会頭より新年の挨拶、長谷川副会頭の乾杯と進み歓談、結びの挨拶を田丸会長による一本締めで閉会致しました。

今回の出席は71名の参加という7割の方の参加を頂き、久々に拝見するお顔もあり、新年にふさわしい大変良い例会だったと思っております。

### 2月例会報告

今回はテーマ「真剣！体験！救急講習」サブテーマ「正しい応急手当とAEDの使い方」と題して、救急救命講習を行いました。指導は、日本赤十字社北海道支部指導員の方々、とボランティア指導員の方々です。三連休明けの火曜日という日程にかかわらず、60名に近い多数の会員に出席していただき、担当委員会として大変嬉しく思いました。

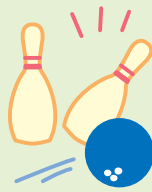
救急救命は1分1秒を争います。救急救命士の方々も駆けつけるまでに、現場に居合わせた人間が適切な救命措置を行うことで、傷病者の救命率を飛躍的に上昇させることができるそうです。

今回の講習では、前半は指導員より解説をいただき、後半からは実技講習に移りました。実技講習



# 親睦ボウリング大会開催!!

富樫会長杯



去る3月1日ボウル北見・味覚園銀座店において「富樫会長杯親睦ボウリング大会」を開催しました。ボウリング37名、焼肉懇親会40名の出席で大変盛り上がり日頃の運動不足を解消いたしました。結果は以下のとおりです。

優勝	市川 隆博君	1G	146	2G	190
2位	平井 良紀君	1G	149	2G	177
3位	平田 眞君	1G	137	2G	169
4位	佐渡 英一君	1G	145	2G	159
5位	富樫伊知朗君	1G	138	2G	166
6位	佐竹 信泰君	1G	124	2G	179
7位	村川 証君	1G	141	2G	158
8位	田中 亨君	1G	142	2G	155
9位	石田 雅樹君	1G	136	2G	155
10位	加納 正樹君	1G	145	2G	145

では8グループに分かれて、心肺蘇生法と最近関心が高いAED(自動体外式除細動器)の操作実習を行いました。AEDの講習については初めての方がほとんどでしたが、AED本体が音声で操作手順を指示してくれるので、意外と容易に操作できることがわかりました。

実技講習中は真剣に取り組みつつも、出席会員同士の対話や時折笑いも混じるなど、緊迫した場面を想定しながらも和やかな面も見せる例会でもありました。今回の例会によって救急救命の重要性を理解いただき、現実にとり起こった時に、多少なりとも自ら救命措置を行えるスキルを身につけていただけたのではないかと思います。

マイスキルアップ委員会  
竹内福之

### 3月例会報告

今年度の卒業例会は、3月15日に北見東急インにおいて多くの会員の皆様に御出席を頂き開催されました。

内容はパート1が卒業式で、卒業される4名の会員の方に卒業証書と記念品が富樫会長より手渡されました。

パート2は卒業生を送る会として、それぞれのの方にビデオメッセージを用意し、御本人には内緒にしたサプライズ企画として放映させて頂きました。また、卒業生の皆



さんが生まれた年から10年毎に流行った言葉、ヒット曲、放映されていた番組などをピックアップ紹介をさせて頂き、卒業の記念とさせて頂きました。

尚、今年の卒業生は、小原義広さん、川原田宏幸さん、藤澤雅美さん、安田 敦さんの4名でした。卒業生の皆様には長年に渡る活動に感謝を申し上げます。そして、これからも北見YEGには御指導、御助言を頂ければ幸いです。



## 送別会

この度、会社の人事異動により青年部を退会(会員交代)する事になりました。在籍したこの4年間は貴重な財産の蓄積となった時間であったと思います。特に北見の発展を担っていく精鋭達との出会いは何事にも代えがたいものでありました。できる事なら皆様に卒業という形で送ってほしかった。皆様のご活躍を陰ながら応援しております。健康には十分気をつけて頑張ってください。どうもありがとございました。

佐渡 英一

### YEGのみなさん。

1年という短い期間ではありましたが、大変お世話になりました。仕事の関係で常勤勤務を命ぜられましたが、不本意ではあります。みなさんと一緒に学んだ例会、委員会そしてその後の食事と会話。ほんち村、オフトーバーフェスト、じまん村等活動のどれをとっても楽しい思い出となりました。私は転勤族のため地元に戻人がいますが、YEGを通じて知り合えたみなさんによく、「あそび」に誘っていただいた事はとてもうれしい経験となりました。その「あそび」の中で若き経済人たるみなさんの熱気と活力を垣間見る事ができました。今後とも富樫会長、三役のみなさんのもとで、地域経済の発展のためにご活躍される事を期待しています。

また、先日送別会ではみなさん月末・年度末のお忙しい中、お集まりいただき誠に恐縮しております。ありがとうございました。

追伸  
各種イベントのおりには是非声をかけてください。ギターをもって「アーティスト」としても参上します。

川合 民独

## 編集後記

道路の雪もすっかり解け、北海道もやっと春がやってきました。入学式や入社式など新たな希望に満ちた季節です。

今年の冬は寒かったり暖かかったりのハッキリしない冬でしたが雪も少なく比較的過ごしやすかったです。感じた通り、今年度もYEGの皆様と一緒に新たな気持ちでスタートして行きたいと思っています。

今回、私は始めてTRYの編集をする事になったのですが、なかなか思うように行かず多くのメンバーの多大な協力をいただきました。

YEGに入会し異業種の仲間同士で同じ物を作り上げるといふ貴重な経験が出来た事を改めて良かったなと感じることができました。

今年もまだスタートしたばかりですがYEGの皆様と色々な経験が出来るといいなと思っております。

総務広報拡大委員会  
吉岡 俊英

※当青年部を3月で卒業された藤澤雅美さんが、四月七日に急逝されました。心より御冥福をお祈り致します。

**次号** 第20号は平成19年8月初旬発行です。

TRYに載せて欲しい記事をお持ちの方は、お気軽に総務広報委員会まで、お知らせください。